

若手意見交換会の開催報告

(1) 開催概要

- 開催目的：意欲ある若手事業者の意見を計画に反映し、自分たちの計画として推進してもらう機運を高める
- 参加者：13名（商店会活動や地域の活性化に向けた取り組みに関心が高い、もしくは既に何らかの取り組みを実施している若手経営者、従事者、関連事業者等）
- 開催日時：令和6年1月22日（月） 14：30～16：30
- 開催場所：生涯学習センター（文化創造拠点シリウス） 610 大会議室
- テーマ：①次期 大和市商業戦略計画における将来像（仮説）について
②次期 大和市商業戦略計画における方向性について
③3つの方向性に関連した取り組み案（アイデア等）と取り組みに向けて必要な支援策について

(2) テーマに対する主な意見

①将来像（仮説）について

- 特色ある、今までにない新しい商店街づくりを目指す。
- 事業者が自分のまちとして愛着を持って、商業や地域の活性化に取り組む。
- やる気のある人をサポートし、特に若者が起業するまちを目指す。
- 外国籍の居住者や高齢者も働きやすく活躍できるまちを目指す。
- 市民や来街者が笑顔で過ごせ、国籍や年齢、性別を問わず多様な人が交流でき、子ども達が安心・安全に暮らせるまちを目指す。
- 地域資源の活用や地域の魅力づくりにより、まちの賑わいを形成していく。
- まち全体のグランドビジョン（ハードを含めたもの）に沿った産業振興、商業振興が必要であり、雇用力のある事業所（製造業等）の誘致も必要。

②3つの方向性と、それに関連した取り組み案（アイデア等）や必要な支援策について

- 市域全体で1つのことをするのではなく、それぞれの地域が個性や魅力のある個店を生かした取り組みを行い、その情報を共有する場づくりを行う。
- 若者をはじめやる気のある人による起業を支援する。
- 外国籍人材の登用や高齢者が働きやすい環境づくりに向けた取り組みを推進する。
- 文化施設を地域活性化につながる事業で利用できる仕組みを検討する。
- 多様な分野の事業者や団体、人が参画できる新たな推進体による取り組みを推進する。
- 電鉄会社や大手商業施設とも連携して、エリアマネジメントを推進する。
- 名産品や特産品の商品化や、個店や商品等の魅力を再発見し情報発信を図る。
- 様々な地域資源を活用して、人口増加や産業・商業振興を図る。

③計画の推進に向けて

- 市が手続きの簡素化や支援策の情報発信を行い、多様な主体の参画による計画推進を図るとともに、計画期間中も検証を行い事業者等に情報発信するとよい。